

ホイテツリ

2017
Spring



目 次

目次	1	
サークル紹介	2	
2017年春 ラノベ原作アニメへの期待	ぬるま湯	3
この曲のオタ芸がアツい!	とよひさ	9
作品とコンテンツ	あいこーん★	13
2016年度オタク総括	加藤	15
GJ部	うちだ	17
村川梨衣の a りえしょんぷり〜ず♡(りえぷり)について	マッキー	19
声優ランキング		23
メンバープロフィール		24
卒園の一言		27
編集後記		29

サークル紹介

東京工業大学アニメ声優研究会(通称ボイテック)は 2014 年より活動を開始した東京工業大学の非公式サークルです。アニメオタクは勿論、ライブやイベントに多く参加している活動的な声優オタク、音ゲー、アイドルオタク等、個性的な東工大生が多数在籍しています。主な活動内容としては、工大祭での声優をお呼びしてのトークイベントの企画・運営が挙げられます。隔週のペースで総会を開催し、サークル活動に向けての会議を行っており、工大祭直前は週 1 回程に頻度を増やしています。日頃はカラオケや BBQ、アニクラといった内政企画を月 1 で行っており、昨年度は夏と春に計 2 回交流を深めるための合宿を行いました。また、サークル員の仲が良く、この他にも集まる機会は多くなっています。そして、年に数回このような会誌を発行しており、個性豊かな部員の記事が並んでいます。

活動の出席は基本自由ですので、他サークルとの兼サーやイベンターの方も大歓迎です。東工大に入学した方がいいけど、なかなか同じ趣味の話を出来る人がいない...という方！ぜひボイテックに入会して気軽に話せる仲間をつくりましょう！！

・ボイテック HP

<http://www.voice-titech.com>



・ボイテック Twitter

@voitech_anime



2017 年春 ラノベ原作アニメへの期待

ぬるま湯

この記事は 2017 年春アニメの私が大好きなラノベアニメの紹介です。身の回りのオタクはコッテコテのラノベアニメをあんまり見ない印象なので、この記事でちょっと面白そうだ見てみようかな、と思ってくれたら嬉しいです。

今回挙げたアニメは、

- ・ゼロから始める魔法の書
- ・終末なにしていますか? 忙しいですか? 救ってもらっていいですか?
- ・クロックワーク・プラネット
- ・ロクでなし魔術講師と禁忌教典

ラノベ原作といういことで、それぞれ原作 1 巻を読みました。

(エロマンガ先生とサクラダリセットは有名だしどうせみんな見るだろうし省きました。)

読んだ順で書いていきます。(僕はたい焼きをしっぽから食べる派です)

以下敬称略。

- ・ロクでなし魔術講師と禁忌教典

ヒロイン

システィーナ=フィーベル 声・藤田茜

ルミア=ティンジェル 声・宮本侑芽

リエル=レイフォード 声・小澤亜李

ちなみに大まかなストーリーとしては、魔法学校っぽいのが有る世界で、教師の主人公、生徒のメインヒロイン達という、ほぼ空戦魔導士候補生の教官的なもの。それだけ言えばオタクは分かっちゃいますね。

藤田茜のキャラは主人公に突っかかる系勝ち気娘、宮本侑芽のキャラは落ち着きのある優しい感じ。小澤亜李のキャラは 1 巻で出てこなかったのが分かりませんが多分かわいいです。

藤田茜と言えば、昨今はむしろ優しい感じのキャラが多い(裏含め)なのでどうなのかな、と思いましたが、PV を見る限り結構良いですね。エロマンガ先生でもメインのメインヒロインを務めるなどという事で来期旬の魚って感じですね。

宮本侑芽は GJ 部天使恵とアイカツスターズ! 香澄真昼ぐらいしか存じ上げないのですが、PV を見た限り香澄真昼に近い感じの演技、クールが入った感じで正直ちょっと合って無くない? ってなっちゃった... (勿論僕個人の一解釈に過ぎません)

主人公は齊藤壯馬。あとサブヒロインっぽいのにキタエリが出てきました。1巻読む限り結構出てきそう。

主題歌

オープニングテーマ「Blow out」

作詞・作曲・ヒゲドライバー / 編曲・ゆよゆっぺ / 歌・鈴木このみ

エンディングテーマ「Precious You☆」

歌・システィーナ（藤田茜）、ルミア（宮本侑芽）、リエル（小澤亜李）

主題歌はPVでどっちも流れてますね。EDは結構好きな感じ。もう聞けますから言うこと無いですね。

原作一巻読んだ感想としては、結構面白かったと思います。意外と先が気になる展開で、特に後半からは寝る時間を惜しんで読んでしまったぐらい。やっぱ読みやすいんだなーと思いました。

気になった事と言えば、コテコテラノベ特有のガバガバ展開に対して、いちいち言い訳、と言えば聞こえが悪いですが、詳細に原理を解説してる場面が多く、アニメではカットされるでしょうが、作者こういう系ラノベ業界を結構冷静に見てるんじゃないかなと感じました。E=mc²。威力は速度と質量だ！に読者がついてこれるように頑張ってる感じ。

制作はライデンフィルム。作画期待度は幅がある気がするけど平均より少し高いぐらい。

スタッフに関しては僕が分かることあんまりないですね。

このアニメが好きなら嗜好に合いそうだなというアニメは、

- ・空戦魔導士候補生の教官
- ・最弱無敗の神装機竜

コテコテなバトルものラノベのストーリー展開、さらにB級グルメな声優陣、テンプレヒロイン。大らかな目で作品を見守る寛容なおタク向け。作画はもしかしたら良いかも。

まとめ

しっかりした作者さんだし2巻以降の展開も期待できそう。藤田茜と宮本侑芽のあんまり見ないタイプの演技が一番楽しいポイントですね。

- ・ゼロから始める魔法の書

メインヒロイン

ゼロ 声・花守ゆみり

一巻を読む限り、メインヒロインと主人公（獣人）が魔法の有る中世ヨーロッパみたいな世界を2人で旅する話っぽい。

メインヒロインは魔女で、文章を読む限りどこか気の抜けた所が有るけど余裕がある美女、って設定なんですけども、声優は花守ゆみりです。作中しつこいくらい美女という言葉で描写されるヒロインですが、原作のキャラデザからどう見ても少女っぽい…僕が読み方を間違えたのかもしれませんが、ちょっと合っていない、ラノベの悪いところが出たなあと思いました。（傲慢）それも含めて作品の表現、だと思わなくもないですが。

原作のキャラデザに引っ張られて花守ゆみりということでしょうね。そうではありますがPVを見る限り演技はめっちゃめっちゃ頑張ってるっぽいです。僕の知ってる花守ゆみりの中では新境地な感じですか。いつもみたいな媚びるような声ではなくて精神年齢高めの演技していますね。楽しみです。

ちなみに1巻ぐらいにしか出てこないっぽいけど大地葉のキャラがいます。めっちゃ久しぶりの印象。

主題歌

オープニングテーマ「発見者はワタシ」

歌 - たびみる

エンディングテーマ「はじまりのしるし」

歌 - Chima

OP、結構好きな感じ。存じ上げないアーティストさんですが結構好きです。PVで聞けるのでぜひ聞いて欲しい。EDについては何も情報無し。多分しっとり曲。

作品の魅力としては中世魔法ファンタジーとかわいいメインヒロインだと思いました。この作品が好きかどうかはこの花守ゆみりが好きかどうかですなぶん。原作は所々自然描写が気合い入ってるなと思いました、アニメにはあんまり入ら無さそうです。

制作はWHITE FOX。作画期待度はかなり高め。いいねえ～。

スタッフに関しては僕が分かることあんま無いですね。

このアニメが好きなら嗜好に合いそうだなというアニメは、

- ・ 棺姫のチャイカ
- ・ 狼と香辛料

王道中世ファンタジーと魅力的なヒロイン。経済が剣と魔法になった狼と香辛料って感じ。書いてたら狼と香辛料見返したくなったな！

まとめ

花守ゆみりこんな演技するのかという驚き。だったら花守ゆみりじゃなくて良いんじゃないかと思わないでもないんだけど頑張ってるなあと思った。（小並）

WHITE FOX だったら動く所は動くだろうし、特に僕は魔法のシーンがどの様に表現されるのか楽しみ。

・クロックワーク・プラネット

主人公

見浦ナオト 声・南條愛乃

ヒロイン

RyuZU (リューズ) 声・加隈亜衣

マリー・ベル・ブレゲ (Marie Bell Breguet) 声・大西沙織

AnchoR (アンクル) 声・千本木彩花

う〜ん、120点の声優陣。主人公のボーイが南條愛乃なのが特に素晴らしいですね。

加隈亜衣のキャラは最初からデレてるタイプの毒舌設定のゴスロリメカっ子。これゾンのユークリウッド・ヘルサイズが普通に喋る感じ。戦闘シーンの作画大変そう。加隈亜衣ならまあ信頼と実績。

大西沙織のキャラは頭身低めのタイプのテンプレツンデレなんですけど、意外と大西沙織のそういうキャラってあんまり覚えがないですね。澤村・スペンサー・英梨々よりは全然幼い感じです。

千本木彩花のキャラは1巻では出てきませんでしたが、きっと千本木なら可愛くやってくれるでしょうね。ファンタジーラノベの千本木は多分初めてだし、ここが力の見せ所感あり。

主題歌

オープニングテーマ「clockwork planet」

歌・fripSide

エンディングテーマ「アンチクロックワイズ」

歌・After the Rain

OPED 共々現時点ではPV等では確認出来ません。まあOPはいつものfripSideでしょう。EDのAfter the Rainという輩は男の歌手のユニットだそうです。あつ、ふ〜ん…

どういう層を狙ってるんでしょうね超萌え豚向けみたいな声優陣で。

原作は榎宮祐、ノーゲーム・ノーライフの人ですね。イラストは茨乃というランス・アンド・マスキスの人で、そう言われるとどことなくストーリーも似てるような気がしてくる…かな…？1巻は露骨に導入編なので分かりかねますが、世界観(誤用)が結構素敵だと思いました。拘ってアニメ化するならそこも魅力の一つになり得ると思いました。

アニメだとウザくてカットとかありそうですが、原作は主人公が周囲から承認される喜びをかなり重視して書いているようでした。文字媒体だとこのような場面は気持ちがしっとりして良いのですが、アニメにはちょっと合わないかもしれませんね。

制作はXEBEC、作画期待度は低め。悲しいね。

スタッフに関して特に言うことなし。強いて言えば監督の長澤剛はちょいちょいギャグっぽいパートがあるこの作品に合ってる気がするかな、ぐらい。

このアニメが好きなら嗜好に合いそうだなというアニメは、

- ・これはゾンビですか?
- ・デート・ア・ライブ

うーんこれゾンビはそれっぽいけどデート・ア・ライブは的を射て無いかも。でもなんとなくそんな気がする。シリアスバトルとギャグを行ったり来たりするタイプになると思います。

まとめ

声優が良い。目を瞑って見ても良いかも。眼精疲労解消アニメの可能性アリ。(大変失礼)

作画はアレかもしれないけどストーリー自体は結構面白くなる気がする。でもやっぱり声優で見るのが一番自然かも。

- ・終末なにしていますか? 忙しいですか? 救ってもらっていいですか?

ヒロイン

クトリ・ノタ・セニオリス 声・田所あずさ

アイセア・マイゼ・ヴァルガリス 声・Machico

ネフレン・ルク・インサニア 声・上原あかり

とっても素敵な世界観(誤用)。いろいろアレなのでとにかく見てくれと言いたい作品。僕は今回紹介した作品の中でこれが一番好きだったし、原作も全巻買ってしまった。

メインヒロインの田所あずさは非常に良いキャスティングだと思う。TRICKSTERの田所あずさみたいな演技になると思う。キャラが経ってる可愛い元気っ子!みたいなのではないです、割と普通の女の子っぽい演技。

Machicoのキャラはそれこそ田所あずさっぽい露骨な元気っ子なのだけど、Machicoは三者三葉西山しか知らないからなんとも言えない…むしろ西山の時はお前声優だったのかと思った。

上原あかりも知らない…知識不足で申し訳ない…キャラクターはクールっ子。ちなみににゃんこデイズは良いアニメです。

主題歌

オープニングテーマ「DEAREST DROP」

作詞・作曲・Q-MHz / 編曲・増田武史 / 歌・田所あずさ

エンディングテーマ「フロム」

作詞・唐沢美帆 / 作曲・編曲・南田健吾 / 歌・TRUE

最強の布陣。僕が好きな作品がこれで本当に良かったなあ! DEAREST DROPはMVがもう出てるので聞いている人も多いでしょう。僕はかなり好き。EDの南田健吾さんは最近で言えばアイカツスターズのDreaming birdやDancing Daysを手がけていらっしゃる方で、TRUEさんがそれを歌うんですから、くう〜、オタクで良かった! w

原作を読んで思ったこの作品の魅力は、空気感ですね。ストーリーは全体を通してシリアスな雰囲気であり、簡潔な文章と淡い彩色の原作イラストは作品の世界設定に非常に合っていると思いました。僕の稚拙な文章よりも読んでもらった方が分かると思います。うふふ。

原作は5巻で一度区切れている（タイトルも変わっている）ので、多分そこまでのアニメ化でしょうから尺的にも良い所までやってくれるでしょうから嬉しいことです。

制作は サテライト、C2C。作画期待度は結構高め。少し不安なのは3月18日現在PVの類が全く見当たらない事。原作イラストも大変素敵なので特にキャラデザは素晴らしいものを期待してしまいますね。

スタッフについて僕が目撃したいのは、音楽の加藤達也さん。皆まで言う必要も無いですよ。多分サントラ買います。

このアニメが好きなら嗜好に合いそうだなというアニメは、実は全然思いつかず、強いて言うなら、魔法戦争。まあ強いて言うならですからね、ええ……

まとめ

凄く素敵な作品だし、良いアニメ化に成ることを強く期待してます。

紹介は以上です。どの作品も次世代を担ってもおかしくない声優さんが出演なさってるので、声優オタクの皆様も是非。

この曲のオタ芸がアツい!

とよひさ

みなさんこんにちは!突発性オタ芸症候群慢性患者こととよひさです。タイトルでお察しの通り、僕がオタ芸するうえでお気に入りの曲を尺ごとに分けて書いていこうと思います。尺については見解が分かれるかもしれませんが、ご了承ください。もしこんな記事を読んでもくれる新入生がいてくれれば、サークルのブログ記事の方も読んでいただけると幸いです(技名はググってください)。

～サンダースネーク編～

・ RHYTHM EMOTION…TWO-MIX (Vo. 高山みなみ) の 2 枚目のシングルで「新機動戦記ガンダム W」の後期 OP。

BPM が低くてリズムが分かりやすいので、サンダースネークからロマンスまで歌詞を口ずさんで確認しながらオタ芸できます。覚え始めのオタ芸の練習に如何でしょうか。

・ Naked Dive…SCREEN mode の歌う「無彩限のファントムワールド」OP。

その名の通り上裸オタ芸曲。自宅で打つこともありますが、一人で上裸になるのは余りにも虚しいのでやってません。アニクラなどで輪を組んで皆で上裸になりましょう。

・ Believe…「One PIECE」の 2 代目 OP として Folder5 がリリースしたシングルですが、アイドルマスターの 765 シリーズでカバーされています(そっちの音源しか持ってないです)。

1 番サビ終わりの「Believe in Wonderland」の「ワ」の音からロマンスの動きを変えて、3 回連続で体を横に逸らしつつ腕を回す動作を取るのが僕のお気に入りです。

・ Stella-rium…鹿乃 1st シングルにして「放課後のプレアデス」OP。

弊サークルにはアニクラでこの曲を流すと一瞬で前の方に駆け出し倒れるオタクがいるため、それに対する他会員のリアクションも含めて楽しめる一曲です。僕は太抵倒れたオタクが蹴られたり引き吊り回されるのを見ながらサンスネしています。

～アーリークロス、ドラグーンスピア編～

・ ワルキューレが止まらない…「マクロス Δ」の作中ユニット、ワルキューレのアルバムリード曲。

PV で笑いが止まらないになり、曲でオタ芸が止まらないにさせられる話題曲。ラスサビの長尺や繋ぎでオタクの個性がこれ以上なく表れる曲と言えるでしょう。

・ 心響プロジェクター…「響け! ユーフォニアム」1 期キャラソン、ボーカル: 高坂麗奈(安済知佳)。

クズの本懐で注目を浴びる安済知佳さんの、縦ノリも楽しいドラスピ入門曲。ちなみに僕はユーフォのキャラだと黄前麻美子さんが好きです。慣れてきたら同じく安済さんのキャラソンである Trusting(灰と幻想のグリムガル)も如何でしょうか。

・Divine Spell…作詞家としても近年活躍している TRUE(唐沢美帆)の楽曲で「レガリア The Three Sacred Stars」OP。

TRUE さんといえば DREAM SOLISTER やサウンドスケープといったユーフォ楽曲を思い浮かべるオタクも多いかと思いますが、”ブチ上がる”楽曲としては UNISONIA(「バディ・コンプレックス」OP)とこの曲が圧倒的 2 トップでしょう。タイアップ先のアニメはいまいち奮わなかったものの、全力で王道を征く名曲です。

・ミツボシ☆☆★…アイドルマスターシンデレラガールズのキャラクター、本田未央(原紗友里)のキャラソン。

僕がオタ芸を覚える前からサークル員がこの曲で盛んに舞っていたので、普通に聴くだけでオタ芸するオタクが脳裏に浮かんでしまう曲です。また、カラオケルームを利用した個人的な観賞会の後半でアイマス 10th を流した結果、僕はこの曲で右手を打撲しました。未だにこの恨みは晴れません。

～長尺編～(長尺=アストロドライブ以上の長さの尺、とする)

・killy killy JOKER…「selector infected WIXOSS」の OP でボーカルは分島花音。

高田馬場駅のロータリーで、21 歳を迎えた直後に WASK(早稲田アニメ声優会)の皆さんと対面させて頂いた、非常に思い出深いアストロドライブ曲です。チェロとバイオリンが奏でる旋律も非常に美しいですね。

・Ray of bullet…「銃皇無尽のファフニール」ED でボーカルはイリス・フレイヤ(日高里菜)、物部深月(沼倉愛美)が基本ですが 6 人で歌うバージョンやソロ版も存在しています。

儂くも力強い意志を感じさせるアストロ曲ですが、1 番サビ頭の「幾度となく傷つくのに慣れて」の辺りで 2 年生の春にバイトに連続で落ちてマジ凹みしていたことを思い出してしまいます。2016 年の夏合宿でこの曲が流れたときに録られた動画での拍ズレが酷すぎて改善を決行し、リベンジを果たしたいと考えていますがそれ以降一度として参加したアニクラで流れていないのが悔しいところです。

・ワガママ MIRROR HEART…大橋彩香が歌う「政宗くんのリベンジ」OP。

尺は個人差があるかと思いますが、僕はアーリー→ドラスピ→サンスネを間を置つつ打っています。アーリーからアストロドライブを入れる人も多いようです。楽曲派・縦ノリ・オタ芸の全てに対応しうるハイクオリティな 1 曲。ANIMAX MUSIX2017 大阪での大橋彩香さんの振り付けも大胆でとても可愛らしかったです。

・Catch the Moment…LiSA の最新シングルで映画「ソード・アート・オンライン -オーディナル・スケール-」主題歌。

尺としてはアーリー→ドラスピ→サンスネ→ロマンス or ドラスピ→サンスネ→アーリー→ムラマサ、あたりですが、個人的にロマンスがしんどいので後者を多用しています。東工大がアニタイ(聖地)と化した映画ですが、ぶっちゃけオタ芸とか聖地とか関係なく是非見て欲しい作品です。ちなみに弊サークルの OB には卒論発表後にスーツでキャンパス内スターバーストストリームをした人がいるとかいないとか。

～総括～

如何でしたでしょうか。この記事は執筆した僕自身が途中で虚無になるくらいくだらない内容ではありますが、挙げた曲はいずれもオタ芸など関係なく素晴らしい曲ばかりです。記事を読んだ皆さんが、この機会に聴いていただけると嬉しいです。ついでにオタ芸も練習して僕と対面してくれると更に嬉しいです。以上、ありがとうございました。

作品とコンテンツ

あいこーん★

昨今、BD イベントを中心に上映会やラジオ公録、リリイベといった会場を貸し切ってステージに声優が登壇するイベントが増えていてオタクイベントは多種多様である。ほとんどのイベントはアニメのイベントだと思っているかもしれないが、殆どのイベントは演者ありきの声優のイベントなのだ。ここではこれについて話そうと思う。

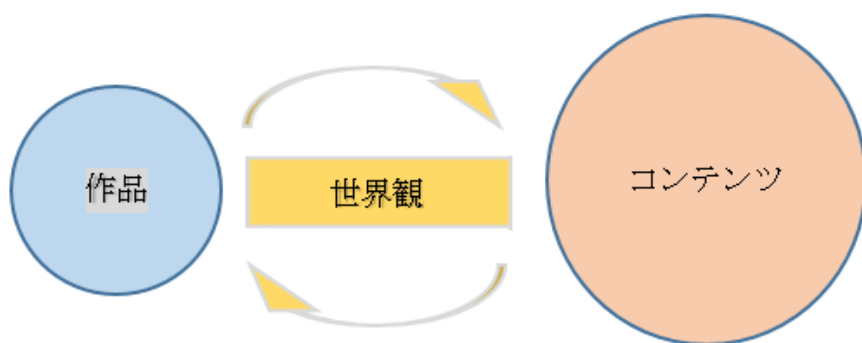
作品とコンテンツ

作品とコンテンツは同じ意味で使われるのだが、ここでは次のように使い分ける。

- ・ 作品：ラノベやアニメなどを中心としたキャラやストーリーといった別世界のこと
 - ・ コンテンツ：声優やライブ、ゲームなどを中心にした作品を題材とする身の回りのこと
- 簡単に言うと原作そのものが作品で、原作を題材に展開しているものがコンテンツである。

広がり

例えば、あるアニメの書き下ろしやオリジナルストーリーのゲーム、グッズの付録として裏設定などが存在するとそれらは作品としての幅や奥行きが広がったと言えるだろう。これはゲームやグッズといったコンテンツの一部は原作の世界観を通して作品に影響を与えたということだ。作品はコンテンツに対して影響をもちろん与える。つまり、作品とコンテンツの一部は世界観を媒介して影響しあっていると捉えられる。



当然、コンテンツは作品によって形取られ、成り立っていく。だが、コンテンツ自身の要素や大きさによっては強度が増していき、先ほどの例のように作品に影響を与えることがある。そこで、先ほどまでに示した考えでBD イベントについて見てみる。

推論

BD イベントお馴染みのトークや遊びコーナーはアニメに関連してはいるものの声優メインで声優無しでは決して成り立たない。また、OP, ED の歌唱も声優やアーティストがいてこそだ。しかし、曲の歌詞やメロディーはキャラやストーリーと重なる部分もあり作品由来とも言える。だからこそ、好きなアニメのOO,EDには思い入れがあるし、なによりキャラソンが栄えるのだろう。結論をまとめると、BDイ

イベントは作品寄りの要素はところどころあってもコンテンツ色が強いということになる。

私達はコンテンツを身の回りのものとして触れ、そこから世界観を経由して作品を疑似的に楽しんでいる。それ故に、コンテンツ寄りのイベントが多いのも頷ける。だが最近では”寄り”を乗り越えて、アイドル声優のように世界観を利用してコンテンツとしてのみ広がったものが増えている。アイドルはキャラ同様に単体で完結するため、スポットが演者に当たるのは当然だ。それもあってかアニメのキャラの声から声優を連想してしまい、キャラのイメージが変わったり、アニメそのものが見れない楽しめないという別世界への干渉現象が観測されている。マイノリティな問題だとは思いますが、アニメそのものを楽しめなくなっている状況やオタクが存在することも認めざるを得ない。だがむしろ、こういう状況だからこそ作品とコンテンツの関係や区分けは今後変化していかねばならないし、変化するだろう。その変化が進化か衰退か、吉か凶か気になるところである。

最後に(感想)

このように楽しみや悩みなど様々な感情は周りに影響される。どんな状況であれ、自らの努力を大切にしつつも周りや環境に対する日頃からの感謝が大事であろう

2016 年度オタク総括

加藤

こういった文章を外部に発信する場というのは、現在 Twitter 以外に設けておらず、党サークルの会誌の記事を募集された際にノリと勢いで寄稿を進言したものの、書きたいことは特に不明慮なものばかりで、締め切りを過ぎた現在でもいくつもの記事を書いてはボツにすることを繰り返している。果たしてこの記事が世に出されるのかもわからないので以降の文体は乱れに乱れていることだろうが、お許しいただきたい。

・懐古のこと

さて、私はいわゆる懐古厨と呼称されるような存在であると最近オタクに言われた。果たしてそうなのかと自己を回顧してみると確かにその通り、昔の話をマスターベーションのごとく連発しているではないか。誰も得をしないこの停滞、なぜ行ってしまうのだろうか。それは最近のオタクコンテンツが明らかな衰退を見せているからであろう。その象徴こそが現在のアイドル声優である。これは私の偏見のせいもあるかもしれないが、現在の若手声優を見ていると、彼女たちは演技よりも容姿で選ばれたのではないかと疑問を抱くことが多々ある。最近の女性声優は可愛すぎるのだ。かくいう私も少し前まではとある女性声優(世界一の美人)が好きでイベントなどに行っていたが、彼女にそこまでのお金をつぎ込めないことや、そもそも年齢差を考えてしまい一瞬で冷め、今は特にイベントに足を運ぶこともなくなっている。さて、話が少々脱線したが、かつてのオタクコンテンツにおいてはキャラクターありきの声優、という構図がどうも最近では声優ありきのキャラクターになってしまっているのである。それにより、かつては存在したオタクならば誰もが共通に長らく愛し続けるキャラクターが居なくなってしまった。かつて二次元キャラクターへ向けられた「萌え」という言葉も最近では見なくなっている(これは単なる萌え、がシコなどの言葉へ変化しただけかもしれないが)。単なる時代による変化だろう、と思われるかもしれないが、小学校低学年のころから親に PC を与えられおもしろフラッシュからインターネットを学び、オタクへの足を踏み入れた根暗の私にとっては、あの時代に比べて今は明らかな衰退にしか見えない。こうした先に行きつくのが懐古である。常に新しいコンテンツを消費するのもオタクとして正しい姿かもしれないが、今一度昔のオタクになりたてだったころのオタクコンテンツを皆さんにも振り返ってもらいたい。私としてはぜひいつかボイテックのオタクを集めてシスタープリンセス鑑賞会をしたいものです。

・2016 年度のアニメについて

オタクというものは目にもとまらぬ圧倒的スピードで手の平を返す生き物で、散々最近のコンテンツを批判したが、2016 年度のアニメは非常に素晴らしかった。某葡萄酒のように例えるならば、「ここ数年でも最高の出来の年」であっただろう。ここで、各クール私が一番推奨したいアニメを挙げていこう。まず春、これは非常に迷うがやはり「12 歳。」だろう。先ほどの懐古の話と重なるが、やはり小学生時代のことを思い出して幸せになれる点(もちろん私は女子と一度もしゃべることのないオタク君でしたが)や、女子小学生が生理を迎える点(ただ 12 歳の段階で初潮を迎えている子がしばかり少ないように思いましたが)や、桧山君が非常にかわいらしく、私の母性が非常にくすぐられた点が推奨の理由になる。夏は少し異色になってしまうが「斉木楠雄の Ψ 難」が一番推せる。ストーリーが面白いのはもちろんのこと、圧倒的なテンポで毎週楽しく視聴できた。主人公に神谷を当てたのは非常に素晴らしかったと思う。また、ヒロインが主人公に対して一種のマゾ的依存を見せてくるところが昂らせてくれて好感触だった。さて、秋は文句なしに「灼熱の卓球娘」だろう。なんといってもアツい、観ているこっちも

ドキドキしてくる演出、中高六年間男子校卓球部のオタクを熱狂させるストーリー、完璧。また、主人公のライバル、上矢あがりちゃんが非常に性的。大宗夢音、通称ムネムネという巨乳キャラクターが居るのだが、その子に並ぶ胸を視聴者に見せつけ、彼らはきっと「お前も大概ムネムネだろ！」といった感想を抱いたのではないだろうか。また、このアニメ汗の描写が素晴らしい。特に汗によってうっすらと肌色に見える体操着はひたすら私を怒張させた。少々下世話な評価になってしまったがそれを抜きにしても本当に卓球娘は秋クールで一番楽しみに下板アニメであった。最後に冬。これは「セイレン」といいたいところだが「Rewrite2期」だ。このチョイスはゲームプレイ済みのオタクには分かってもらえるだろう。夏クールの「Rewrite1期」は初見の方はもちろん原作信者すらも置いてけぼりにする謎構成に多くのオタクが微妙な反応をしていたが、2クール目は原作を細かく再現してくれていて我々は天衝を再評価しなければならなくなった。ラスト3話ぐらいは泣かずに視聴することができない。ただ一つ不満があるとすればCANOEがfullで流れなかったところだけだ。

といった風に2016年は非常に豊作だっただろう。しかし一方で2017年春クールが個人的に不作過ぎて心配である(3週間後には絶賛しているだろうが)。

・終わりに

総括と言っておきながらここまで書いて疲れてきたのでここで終わらせたいと思う。今思い出すと2016年度はグループの活動休止が目立った年であったと思う。私としては声優ユニットが解散したその先にどのようなコンテンツが生まれてくるのか、非常に注目したいところである。また、2017年はオタクにとってどのような年になるのか、非常に気になる場所である。

最後になるがこの記事を読む新入生に一つアドバイスしたい、これを読むような君は絶対にオタサーは入ったほうが良い。下手に逆張りしてオタサーに入らないのは自分の首を絞めることになる。東工大といえど大半の人間はオタクじゃない、君は大学に入ったらオタク友達は自然にできると思っているかもしれないが、それはSNSで友達作りをするような人間にしかできない芸当である。諦めろ。オタサーに入るしかないのだ。

このような駄文を読んでくださってありがとうございます。今後とも東京工業大学アニメ声優研究会ボイテックをよろしく願います。

GJ部 うちだ

1. 概要

GJ部と書いて「ぐっじょぶ」と読みます。GJ部という部活に所属している人たちのゆるふわな日常を描いた作品です。原作はガガガ文庫のライトノベルで、2013年の冬にアニメも放送されました。原作は「4コマ小説」と銘打っていて、1話あたり4ページからなるショートストーリーを集めたものになっています。小説版きららみたいなものを想像していただけるとだいたい合ってるかと思います。

2. キャラクター

部員以外のキャラと詳細はウィキペディアを読んでください。

四ノ宮 京夜（しのみや きょうや） CV:下野紘

主人公です。愛称は「キョロ」。物語開始時は高校1年生で最終巻では高校2年生です。頼りない主人公ですが、憎めないイイヤツ。アニメでもある程度の成長を見せてくれますが、本番はGJ部の外伝作品である『GJ部中等部』です。アニメしか知らない人にとってはびっくりするくらい成長しています。

天使 真央（あまつか まお） CV:内田真礼

部長です。声がかawaii。主人公の1つ年上です。ちっちゃい先輩女子、いいですねえ……。好き。サンタクロースを信じている子供みたいなところや恋愛に免疫がないところがすごくかawaiiです。アニメ1話の、キスシーンがある漫画を拒否するシーンがめちゃくちゃかawaiiくて大好き。あとは原作9巻の……。

皇 紫音（すめらぎ しおん） CV:三森すずこ

副部長です。主人公の1つ年上です。天才です。ぼくは紫音さんの「かawaiiね、君は」というセリフに殺されました。好きです。結婚したい。一般常識に疎かったりエッチなことに興味があったりするところがめちゃくちゃかawaiiです。結婚したい。アニメ3話で主人公にペタペタと触るシーンと5話でこたつに入るシーンがマジでかawaii。バケモン。

綺羅々・バーンシュタイン（きらら・ばんしゅたいん） CV:荒川ちか

ネコ科。主人公の1つ年上です。身体能力がバケモン（本当にバケモン）。身長が高くおっぱいも大きい。スキンシップが大好き。いつも肉を食っててうらやましい。アニメ9話のラストのシーンがかawaii。地味だがとても奥が深いかawaiiさを感じさせてくれる素晴らしいシーン。

天使 恵（あまつか めぐみ） CV:宮本侑芽

お茶入れ係。主人公と同年で真央の妹。天使。おっぱいとお尻がとってもエッチ。エッチなシーンがいっぱいあってシコれる。アニメ2話のツイスターのシーンと7話のブラッシングのシーンはマジでシコ。あと、最終話のBパート最初の方の、主人公と背中合わせになるシーンがホントに好き。作画もいいしセリフがめっちゃ熱い。必見。

神無月 環 (かんなづき たまき) CV:上坂すみれ

クソガキ。主人公の1つ年下です。原作だと5巻、アニメだと7話から登場する新入生。クソガキ。嫌いな人は嫌いそう。ぼくも最初は嫌いだった。意外とかわいいところもあるので嫌わないでほしい。原作だとアニメほどうざくない。11話の猫耳のシーンがありえんかわいい。マジでかわいい。あと10話のハロウィンでポテチを渡さないようにするところがかわいい。

3. 楽曲

めんどくさいのでアニメのOPEDのみ紹介します。

オープニング

もうそう★こうかんにつき/乙女新党

アイドルの歌。ヒャダインこと前山田健一が作曲しました。アイドルらしい下手くそな歌がとても心地いいです。ぼくがこの作品で唯一嫌いなものです。

エンディング

I Wish ~ときめきの魔法~/天使真央&天使恵

1,2話のエンディングです。元気な曲です。アニクラで回収したいなあ~ってずっと思ってるんだけどね。サビの歌詞が素敵です。受験期はよくこれを聞いて励まされていました。ダメダカラネー。

balance unbalance ~ホント ノ ワタシ~/皇紫音

3,4話のエンディングです。紫音さんの主人公に対する想いが詰まった曲です。とってもかわいい。三森すずこさんが歌っているだけあって安定感があります。好みがわかれそう。

Purely Sky ~私だけの空~/綺羅々・バーンシュタイン

5,6話のエンディングです。歌っているのが乙女新党の1人。まあ~、ね。

走りだそう!/天使真央&皇紫音&天使恵&綺羅々・バーンシュタイン

7-12話のエンディングです。最強の曲。映像がもう本当に尊い(尊いという言葉はあんまり使いたくない言葉じゃないけど、この曲にはふさわしいと思う)。去年の内田真礼バースデーベでいきなり歌われてさすがにバケモンになってしまった。

4. さいごに

あまり多くは語りません。あと少しでリトルウィッチアカデミア13話が始まるのでこれで終わりにします。GJ部に興味が出た人はBlu-rayと原作貸すのでいつでも言ってください。よろしくお願ひします。

村川梨衣の a りえしょんぷり〜ず♡(りえぷり) について

マッキー

はじめに

こんにちは、この文章は読者の方にりえぷりの良さを伝えて、興味を持っていただきあわよくば一緒に視聴していただければと思って書いたものです。これをきっかけにとっても楽しいりえしょんワールドに気付いてもらえると嬉しいです。

(●' 'o)σ600Tϙ

ちょっと一言

私は村川梨衣さんのファンですが、好きになったきっかけはこのりえぷりですね。初めは、なんかめっちゃ動いていて面白くてかわいいなあと思っていました。りえぷりを視聴し続けまたイベント等にも行くようになってわかったのは、村川梨衣さんはいろいろなことを思っているいろいろと行動する本当に優しい人だということに気付いたんですよ。具体例を上げるときりがありませんが、ラジオやイベントなどでは私達をいつも全力で楽しませようとしてくれますし、アーティストとしての活動についての話をされるときはいろんな方々への感謝の気持ちを常に忘れずに話をされます。またイベント時の Twitter を見ると会場に来た人にはもちろん来られなかった人にもありがとうと言ってくれる(心は会場に来てくれてありがとうって言う。どうしても行きたかったけど行けなかったイベントがあったときこの言葉に本当に助けられた。ありがとう村川梨衣さん)。他にも演技のこととか歌のこととかいろいろあるけどまた今度どこかで書くので...最後に現在発売中の村川梨衣さんの“最高の”1st アルバム「RiEMUSiC」をみんなよろしくね!

りえぷりとは

りえぷりは村川梨衣さん(りえしょん)の動画付きラジオ番組です。毎週火曜日 23 時から文化放送超 A&G+ でやっています! 少しでもりえしょんのことを知っている方はりえしょんのハイテンションな面白い番組なのだと思います(←はい! そのとおり!!)。簡単に言うとりえしょんの作り出す独特の世界観がとっても面白い番組です(後で説明する“りえしょんのつづり”や“村川素数教授”などいろいろな面白いコーナーがあります)。

コーナーについて

番組は基本的に“ふつおた”“コーナー”“りえしょんのつづり”で構成されています(←最後に何を言っているんだという感じですが後で説明しますね)。

ふつおた

ふつおたについてはたぶんどどの番組にもあると思います(私は他の番組をあまり見ないので詳しくないですが)。ただ特徴的なものとして“素数メール”というのが存在します。番組の素数回目の放送では素数スペシャルとして素数にまつわるいろいろなメールが届きます(素数回を公式 Twitter でも取り上げるほどりえぷりは素数に重きを置くラジオなのだ)。

- ・東工大生は素数大好きだしまありえぷりを見ようみたいなどころはある



村川梨衣の a りえしよんぷり~ず♥□(@rietion)の素数回のツイート

各種コーナー

コーナーはいろいろあるが、実際にコーナーがある回は稀です。ふつおたで時間を使いすぎてコーナーができないというのが鉄板のパターンになりつつありますね。仮にコーナーがあると「このコーナーめっちゃおひさ~1か月ぶりだね~ハハハハ」みたいになる。またコーナーへのメールについても1年前に来たメールが採用されたという例もある(←やばない?)。

ここでいくつかコーナーを紹介すると、まず“笑わなりえしよん”というコーナーがあります。これはいつもすぐ笑ってしまうりえしよんがあえて笑わないようにするというラジオにあるまじきコーナーです。まあだいたいりえしよんが笑います(←かわいい)。

ほかには”オクラホマ・りえしよん”というコーナーがあります。このコーナーはリスナーからの日頃思っている「謎」をりえしよんがオクラホマ・ミキサーのリズムに乗せて解決するというコーナーです。このコーナーの見どころは何といっても曲に合わせて踊るりえしよんのかわいさ。そして曲が終わるまで考えて結局時間が過ぎてから必死に考えて最終的にすごく無難な回答をするりえしよんとそれを自分で笑っちゃうりえしよんがかわいいです(←かわいい)。

まだまだほかのコーナーもありますがぜひ実際に番組をみて確かめてみてくださいね。

りえしよんのつづり

ラジオの一番最後に「お便り待ってますお便りはは~まで」みたいなのでありますよね。りえぷりはそこが一味違うんです!りえしよんは「メールの場合はすべて小文字で rietion@joqr.net ちなみにりえしよんのつづりは~」ここでりえしよんのインスピレーションによって作り出される世界「りえしよんです!(ここで画面につづりが表示される)」ということが起きます。(???←ここに関してはどう頑張っても文章にできないのでぜひ実際の放送を見てほしい!!)。ちなみに村川素数教授が登場したのもこのりえしよんのつづりのコーナーです。「素数以外の数も大切にするように」などといった名言を残していたりする。



↑大体こんな感じ。カットされたり早送りされたりすることもある

最後に

ここまで読んでくれてありがとうございます。とにかく面白い番組なのでこの文章を読んで興味を持っていただければ幸いです（面白いのでぜひみてくださいね！）

宣伝しときますか

2017/1/11 発売

村川梨衣 1st アルバム『RiEMUSIC』

初回限定盤(CD+Blu-ray) COZX-1270-1 ¥4,000+税

通常盤(CD) COCX-39786 ¥3,000+税



< CD 収録内容 >

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1.Anytime, Anywhere | 7.クリームソーダとエンドロール |
| 2.Dreamy Lights | 8.Baby, My First Kiss |
| 3.ドキドキの風 | 9.Eternal |
| 4.Breath | 10.戻れない旅 |
| 5.MaGiK | 11.Sweet Sensation |
| 6.恋するパレード | 12.夜明けの恋 |

< Blu-ray 収録内容 >

- 1.「Dreamy Lights」ミュージックビデオ
 - 2.撮り下ろしインタビュー番組< SECRET of RiEMUSIC >
 - 3.< RiEtion Session LIVE PARTY!! >
- (2016/7/2 科学技術館サイエンスホール)ダイジェスト映像

声優ランキング

ボイテックのメンバーへそれぞれのテーマにあう声優を挙げてもらうアンケートを実施し、その結果をコメントと一緒にランキング形式(敬称略)で発表します。

1. ロリ

- 一位 日高里菜
- 二位 久野美咲
- 三位 小倉唯

上位は票が固まり、接戦でした。定評のある納得ロリでしょう。

2. 妹

- 一位 竹達彩奈
- 二位 小倉唯、水瀬いのり、日高里菜

妹とロリは共通点多かったためか少し被った結果に。ただ、妹には兄がいるという点が大切です。

3. 歌が上手い

- 一位 早見沙織
- 二位 高垣彩陽
- 三位 水樹奈々

声優が歌うことは当たり前になり、声優同士やアニソン歌手との違いが曖昧になっています。正念場はこれからではないでしょうか。

4. 罵られたい

- 一位 早見沙織
- 二位 小松未可子、悠木碧、茅野愛衣、佐倉綾音

かなり票が割れました。そもそも罵られる機会がないので実際はよく分かりませんね。立ち直れない気もします。

5. おっばい

- 一位 佐倉綾音
- 二位 花守ゆみり、上坂すみれ
- 三位 竹達彩奈、佳村はるか

毎年恒例の”おっばい頂上決定戦“今年も開催しました。今回は上位常連の中に期待のルーキーがランクインしました。

6. 2017年の注目 (推し以外)

- 一位 富田美優
- 二位 本渡楓、安済知佳
- 編集長賞 藤田茜

この他にも多くの声優の名前が挙がっていました。また、気分で編集長賞を授与しました。

7. 生まれ変わりたい声 (女性声優)

- 一位 花澤香菜
- 二位 早見沙織、茅野愛衣
- 三位 沢城みゆき

確かにといった結果。各方面で話題になっていますが、可愛い声でモテてみたいですねえ。

8. 生まれ変わりたい声 (男性声優)

- 一位 櫻井孝宏
- 二位 速水奨
- 三位 中村悠一、花江夏樹、諏訪部順一、宮野真守

イケボなら何言っても大丈夫そうですし、適当なこと言っただけでキャラクター言われたいものです。

以上、ボイテックのメンバーによる声優ランキングでした。

メンバープロフィール

①2016年で一番面白かったアニメ

ボイテックのメンバーに答えてもらった2016年アニメを一言と一緒に発表します。

New game

- ・よくできています。(伏木)

機動戦士ガンダム 鉄血のオルフェンズ第二期

・2016年のアニメと言っていいのが微妙な立ち位置ではありますが、1期よりも更に深さと激しさを増す展開や戦闘が最高でした。(とよひさ)

Fate/Grand Order

- ・50万円の重みを感じた。(うちだ)

夏目友人帳 伍

・シリーズ物だし面白いとは少し方向が違う気もするけど絶対値ではこのアニメしか考えられません。ちょうどゴミカリキュラムに虐められて心が荒んでる時に放送していたので夏目たちの裏表なく、優しさと温かさに満ちた物語はボロボロの心に染みるようでした。毎週泣きながら見てたのがすでに懐かしいです。機械はゴミ！！！！(松浦果南)

三者三葉

- ・キャラがとてもかわいく何回でも見返せるアニメでした。あとOPがとても好きです。(ほむ)

ビッグオーダー

- ・他の30分アニメには見られない疾走感があった。原作異なる終わり方だが、納得のいく結末で、満足できた。(子宮ゼリーベア)

灰と幻想のグリムガル

・ちょっと癖のある(らしい)原作をアニメオタク向けに作るのが上手いなあと。特に細居美恵子さんのキャラデザは最強鉄板。(ぬるま湯)

・絵が絵画っぽかったり、主題歌挿入歌BGMもよくできていて、いわゆる雰囲気がいいアニメ(やんちー)

響け！ユーフォニアム2

- ・オタクじゃないので無難に選びました。2016年"度"だと亜人ちゃんは語りたいです。(ツナシュー)
- ・こういった日常系だけど続きが気になる感じのが増えて欲しい。(オズ)

灼熱の卓球娘

- ・あがりも大概ムネムネで興奮した。あとOPが乾杯しやすい。(加藤)

Re:ゼロから始める異世界生活

- ・(ずも)

ステラのまほう

- ・集団製作に関して共感できる部分が多かった。しー部長(CV.村川梨衣)がかっこよかった。(マッキー)

僕だけがいない街

- ・そして誰もいなくなったみたいなタイトルのやつ、北海道の(あたりめ)

フリックフラッパーズ

- ・……ヤヤカ。(もけもけ)

GATE 自衛隊 彼の地にて、斯く戦えり

- ・なんだかんだ毎週楽しみに観てたのはこれかなと。(むらびと)

ラブライブ！サンシャイン!!

- ・13話はごみ（たびびと）

Occultic;Nine

- ・キャラもシナリオも良かったと思います。（西住のぶ）

銀魂

- ・最終話で号泣してしまった。今期も放送中なのですが中々面白い。（たま）

クオリアディア・コード

- ・<世界>が使えるようになったおかげでストーリーだけでなく作画も良く見えました。（あいこーん★）

ハイキュー!!

- ・やっぱりジャンプのスポ根なんだよなあ。（てってれ）

この素晴らしい世界に祝福を

- ・すき（神童）

91days

- ・銃と酒がすきなので。（匿名希望赤鬼）

Rewrite

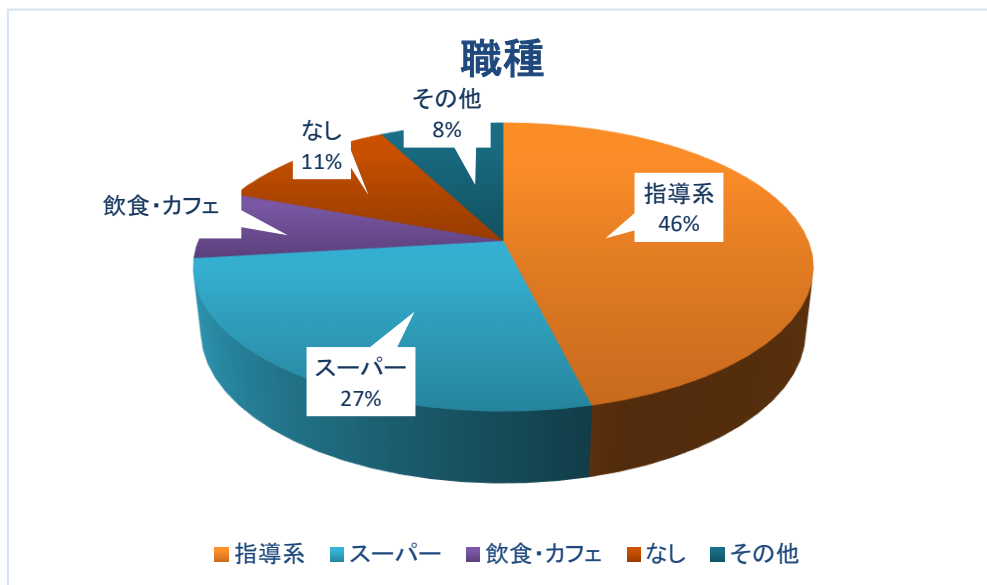
- ・原作神なので補正できます。（こたきん）

2016年のアニメを振り返ってみました。アニメの本数が増えてきてオタクの数といい勝負となる日も近いかもしれません。2017年アニメはどうなっていくのでしょうか。

②アルバイト

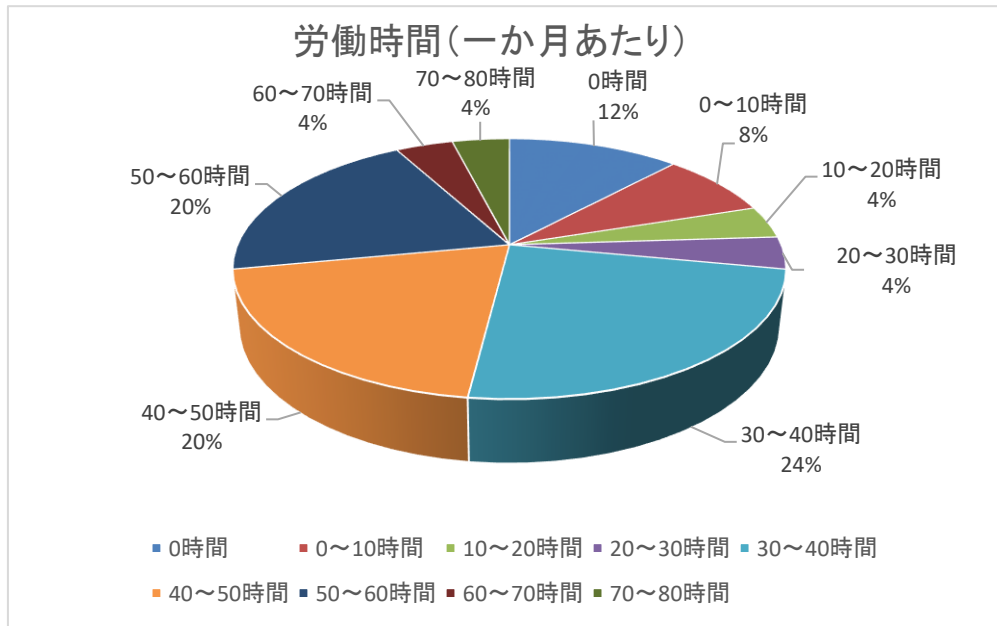
お金を比較的多く使うであろうオタクのアルバイト事情を調査しました。

・職種



*バイト掛け持ちは述べ人数でカウント

・労働時間（一か月あたり）



* 自宅警備員 720 時間や 1 兆時間は 0 時間扱い

以上、当サークル員のアルバイト事情でした。サークル内では指導系に次いで某スーパーがなぜか根強い人気を誇っています。この人気の秘密はボイテックに来たら分かるかもしれません。また、全体としては 30~60 時間/月の労働時間の人が多いようです。

労働は辛かったり面倒で大変なことも多いです。アルバイトを考えているけれどなかなか決められないという学生オタク諸君はこれらを参考にしてみてくださいはいかがでしょうか。

卒園の一言

卒園（引退のことです）に際して一言頂きました。

むらびと

色々と迷惑をかけましたが、これからは下の代の時代。1回きりの学生生活、皆でどんどん面白いことをやっていってください。

とよひさ

皆さんのせいで人生が歪んでしまいました。どうせ歪むなら 1 年生の時からこのサークルに出会って歪みたかったです。本当にありがとう。

子宮ゼリーベア

ニューゴイムさん、ねねっちのマン毛で作った二期おめでとうございます。

あたりめ

飲みとか誘ってください、うまくてたくさん食える安い店知ってるでしょ？

もけもけ

Voitech is beautiful.

こたきん

これからも頑張ってください！！

この他に 3 名を合わせて計 9 名が卒園します。今までありがとうございました！

編集後記

この度は東京工業大学アニメ声優研究会ボイテックの会誌をお手にとりいただき誠にありがとうございました。春らしく新鮮な気持ちで作りました。いかがでしたでしょうか。

昨年度、ボイテックは工大祭で声優の松井恵理子さんと吉田有里さんをお呼びしてトークショーを行うという大きな活動を行いました。声優さんをお招きしてのトークショーはこれで2回目となり、名前も轟き、サークル員も増え、勢いあるサークルとなっています。今年度も工大祭での活動を考えており、それ以外にも月1回ほどサークル内でアニクラやBBQなどの企画を行っておりますので、この会誌でボイテックに興味を持たれた方は活動をぜひ覗きにきてください！もちろん入会も歓迎しています！

編集長：あいこーん★

表紙イラスト：西住のぶ

文：ぬるま湯、とよひさ、あいこーん★、加藤、うちだ、マッキー

2017年4月3日

編集・発行：東京工業大学アニメ声優研究会ボイテック

MEMO



**東京工業大学
アニメ声優研究会**